

埼玉県議会議員



柿沼貴志

柿沼貴志のプロフィール

- 昭和50年11月11日生まれ
おいもと幼稚園～桜ヶ丘小学校～長野中学校～羽生第一高校
- 小中と野球少年だったが、高校から空手道に励む
- 趣味: 自転車、野球、ソフト、カラオケ
- 平成23年 行田市議に初当選 (1759票)
- 平成27年 県議選に初挑戦 (12,752票 次点)
- 平成31年 県議選に於いて15,253票の信託を頂き初当選
無所属県民会議 (14名第二会派) にて活動中!
- 朝の清掃&挨拶活動は9年目に突入、1,000回を超え継続中!
- 県民の声を県政に届ける為各地でミニ集会を実施中!

郷土の声を県政に!!

発行・連絡先

埼玉県議会議員 柿沼貴志 事務所
〒361-0077 行田市忍 2-17-12

TEL 048-554-1377 FAX 048-577-3154
e-mail : takashi-kakinuma@mbr.nifty.com

柿沼貴志

検索

令和2年度埼玉県一般会計予算

1兆9,603億1千500万円 (前年比3.8%増)

“3つの柱”

その①

県民の安心・安全を しっかり確保

- ◆堤防の強化・河道の確保・排水機場の耐震など、災害に強い県土づくり
- ◆県管理道路の橋りょうの耐震補強と修繕
- ◆高齢者運転講習の受け入れ枠拡大のため新施設の設計
- ◆医師の後期研修の指導体制強化と後期研修医師の県内への定着
- ◆県内2箇所の救急救命センターに365日・24時間体制のドクターカー広域運行拠点の整備

その②

持続可能な 成長と発展

- ◆アニメとeスポーツなどのコンテンツ、渋沢栄一翁を活用した観光振興
- ◆医療やロボット等、重点5分野の研究から事業化までの支援
- ◆スマート農業技術の実証・栽培管理を自動化する機械の導入支援
- ◆森林資源情報を市町村と共有するためのクラウドシステムの構築
- ◆オリンピック・パラリンピックを契機とした文化・芸術の振興

その③

誰もが いきいきと活躍

- ◆「コバトン健康マイレージ」のポイント付与と参加者の拡大、健康寿命の延伸と医療費の抑制
- ◆ボランティアや就労相談など、シニア向けワンストップ型総合窓口の設置
- ◆県内私立高校生に対する授業料等の負担軽減を年収720万円未満世帯まで拡大
- ◆保育所等に入所している第3子以降の児童(満3歳未満)を対象に保育料を軽減

令和2年度大野県政初の新年度予算が決まりました。県民の安全・安心を守りつつ次世代に成長と発展をする為の施策が3つの柱として打ち出されました。限られた予算の中で毎年起こる災害に対応しなければなりません。我が会派からも豚コレラ、台風被害に続き世界的に猛威をふるう新型コロナウイルス

ウィルスにも早期の情報提供、対応策、経済対策、風評被害を抑える要望を知事に直接提出しました。本年度はオリンピックも控えています。開催地でもある埼玉県はより一層の感染症対策、テロ対策など危機管理に努め、議会も一体となつてしっかりと出迎える体制を取るべく取り組む決意です。



安心・元気のスタートアップ予算

5か年計画
における
主な施策

未来への希望と生活の安心

人財の活躍と成長の活力

魅力と誇りを高める

- ◆認可保育所の整備、保育サービス受入枠の拡大
- ◆先進的がん医療の提供(CAR-T細胞療法)
- ◆県営浄水場に高度浄水処理施設を整備
- ◆就職氷河期世代の雇用促進
- ◆企業の省エネ対策推進
- ◆県立学校で端末を持ち込み授業で活用するBYODの実証
- ◆埼玉県誕生150周年に向けたイベントの開催
- ◆屋内50mプール、スポーツ科学拠点施設の整備
- ◆人口減少地域の企業に就職し移住した方、起業家への支援金の支給

重要 新型コロナウイルスに関する相談窓口

埼玉県では3月1日より、新型コロナウイルスに関する相談先を一本化し、相談センター等を御紹介いたします

県民サポートセンター 24時間受付

0570-783-770 FAX.048-830-4808

電話での御相談が難しい方は、FAXを御利用ください

相談の
流れ

県民の
みなさま

様々な相談

県民
サポート
センター

疑い事例の場合

帰国者・接触者
相談センター
(各保健所)

受診調整

帰国者・接触者
外来
(医療機関)

県は行田市の暮らしに様々な関わりを持っています。市民の皆様から頂いた「声」や「要望」を実現するため取り組んでまいりました。その活動の一部をご報告いたします。

活動事例

命を守る

通学路を 改修しました

児童生徒を交通事故から守るべく行田市立西小学校の通学路に横断歩道を設置しました。



Before



After

地域を守る

災害からの 安全確保

長年空き家になり倒れ掛かった杉の巨木を地権者のご理解を得て撤去しました。



Before



After

くらしを守る

県と市をつなぐ パイプ役として

市長と一緒に水害対策の予算要望書提出



(埼玉県庁)

市内県道、圃場、水路等の要望と進捗確認



(柿沼貴志事務所)

活動総括



▲行田さくらロータリークラブにて「テーマ：県との架け橋」卓話



▲参議院会館にて前埼玉県知事の上田参議院議員と意見交換(左から鈴木正人県議、上田参議院議員、私、菅原戸田市長)



▲行田八幡神社にて豆まき



▲健康のお裾分け献血



▲警察危機管理委員として埼玉スマート防災訓練の視察



▲県との架け橋となるべく、行田市副市長と詳細な打合せ



▲元県職員の川内優輝プロランナーと意見交換



『埼玉古墳群』が県内初の特別史跡に指定！

『行田足袋』が経済産業省大臣指定『伝統的工芸品』に指定！

柿沼の一般質問が6月議会になりました。ぜひお越しください！